

小学校学習指導要領

国語科の改訂のポイント

文部科学省
初等中等教育局
教育課程課教科調査官 菊池 英慈



独立行政法人教職員支援機構

教科の目標の改善

○国語科の教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、**国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能

(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

思考力、判断力、
表現力等

(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

学びに向かう力、
人間性等

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

「言葉による見方・考え方」とは

- 国語科は、様々な事物、経験、思い、考え等をどのように言葉で理解し、どのように言葉で表現するか、という言葉を通じた理解や表現及びそこで用いられる言葉そのものを学習対象としている。
- 言葉による見方・考え方を働かせるとは、児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めることであると考えられる。
- この「対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりする」とは、言葉で表される話や文章を、意味や働き、使い方などの言葉の様々な側面から総合的に思考・判断し、理解したり表現したりすること、また、その理解や表現について、改めて言葉に着目して吟味することを示したものと言える。

教科の目標の改善

○国語科の教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能

(1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

思考力、判断力、表現力等

(2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

学びに向かう力、人間性等

(3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標の改善

	第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年
知識及び技能	(1) 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	(1) ……
思考力、判断力、表現力等	(2) 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。	(2) ……
学びに向かう力、人間性等	(3) 言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。	(3) ……

学習内容の改善・充実

○内容の構成

〔知識及び技能〕

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- (3) 我が国の言語文化に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕

- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

(参考：現行学習指導要領)

A 話すこと・聞くこと

B 書くこと

C 読むこと

〔伝統的な言語文化と
国語の特質に関する事項〕

学習内容の改善・充実（語彙）

第1学年及び第2学年

オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。

第3学年及び第4学年

オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。

第5学年及び第6学年

オ 思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

学習内容の改善・充実（情報の扱い方）

第1学年及び第2学年

第3学年及び第4学年

第5学年及び第6学年

ア 共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解すること。

ア 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。

ア 原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。

イ 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。

イ 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。

学習内容の改善・充実（我が国の言語文化に関する事項）

第1学年及び第2学年

第3学年及び第4学年

第5学年及び第6学年

ア 昔話や神話・伝承などの読み聞かせを聞くなどして、我が国の伝統的な言語文化に親しむこと。

ア 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。

ア 親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。

イ 長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気付くこと。

イ 長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。

イ 古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人の…

学習内容の改善・充実（学習過程）

A 話すこと・聞くこと

- 話題の設定
- 情報の収集
- 内容の検討

（話すこと）

- 構成の検討
- 考えの形成
- 表現
- 共有

（聞くこと）

- 構造と内容の把握
- 精査・解釈
- 考えの形成
- 共有

（話し合うこと）

- 話し合いの進め方の検討
- 考えの形成
- 共有

B 書くこと

- 題材の設定
- 情報の収集
- 内容の検討
- 構成の検討
- 考えの形成
- 記述
- 推敲
- 共有

C 読むこと

- 構造と内容の把握
- 精査・解釈
- 考えの形成
- 共有

学習内容の改善・充実（言語活動例）

		1・2 学年	3・4 学年	5・6 学年
A話すこと・ 聞くこと	○話したり聞いたりする活動	ア	ア、イ	ア、イ
	○話し合う活動	イ	ウ	ウ
B書くこと	○説明的な文章を書く活動	ア	ア	ア
	○実用的な文章を書く活動	イ	イ	
	○文学的な文章を書く活動	ウ	ウ	イ、ウ
C読むこと	○説明的な文章を読む活動	ア	ア	ア
	○文学的な文章を読む活動	イ	イ	イ
	○本などから情報を得て活用 する活動	ウ	ウ	ウ

学習内容の改善・充実（漢字指導）

新
 愛案以衣位^茨印英栄^媛塩^岡億加果貨課芽^賀改械害街各覚^鴻完官管関
 観願^岐希季旗器機議求泣給拳漁共協鏡競極^熊訓軍郡^群径景芸欠結建
 健験固功好^香候康^佐差菜最^埵材^崎昨札刷察参産散残^士氏^史司試児治^滋辞
 四^鹿失借種周祝順初松笑唱焼照^城纏^臣信^井成省清静席積折節説浅戦選
 学^然争倉巢東側続卒孫帯隊達単置仲^沖兆^底底的典伝徒努灯働特^徳柝^奈
 年^梨熱念敗梅博^阪飯飛必票標不夫付府^阜富^副兵別辺変便包法望牧末満
 未民無約勇要養浴利陸良料量輪類令冷例連老勞録 (202字)

現行
 愛案以衣位^冊胃^印英栄塩億加果貨課芽改械害街各覚完官管関観願希
 季^紐喜^旗器機議求泣^救給拳漁共協鏡競極訓軍郡径^型景芸欠結建健験
 固功好候^航康^告差菜最材昨札刷^殺察参産散残^士氏^史司試児治辞失借
 四^種周祝順初松笑唱焼^象照^嘗臣信成省清静席積折節説浅戦選然争倉巢
 学^東側続卒孫帯隊達単置仲^貯兆^賜低^底停^的典伝徒努灯^堂働特^得毒^熱念
 年^敗梅博飯飛^費必票標不夫付府副^粉兵別辺変便包法望牧末満未^脈民無
 約勇要養浴利陸良料量輪類令冷例^歴連老勞録 (200字)

	H20年告示	H29年告示	新規追加	他学年からの移行	他学年への移行
第1学年	80字	80字	—	—	—
第2学年	160字	160字	—	—	—
第3学年	200字	200字	—	—	—
第4学年	200字	202字	+20字 [○]	+5字 [○]	-23字 [○]
第5学年	185字	193字	—	+21字	-13字
第6学年	181字	191字	—	+11字	-1字
計	1006字	1026字			

「小学校学習指導要領 比較対照表」
 (文部科学省HPより)